平成29年度　　単位施策評価表

所属 28100000
建設部　道路河川整

施策	2101　都市基盤の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民					
施策が目指す姿	「市都市計画マスタープラン」に基づく適切な土地利用の推進、主要道路の整備推進、鉄道駅周辺の利用環境の充実等を図る。					
成果指標	幹線市道の改良率・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で85.8%（現状値83.3%）					

目標達成状況

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
成果指標１	予定	83.80	84.60	85.10	85.40	85.80	
[　%　]	実績	84.30	84.50	84.90	85.00	85.00	
成果指標２	予定						
[　　]	実績						
	単位ｺｽﾄ						
成果指標３	予定						
[　　]	実績						
	単位ｺｽﾄ						
成果指標４	予定						
[　　]	実績						
	単位ｺｽﾄ						
ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ（千円）	予定	706,848	796,849	716,120	731,703	1,421,948	
	実績	884,164	590,616	707,217	626,252	619,302	

内部評価

貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。
達成状況	計画的な進捗管理のもと事務事業の達成率は平均９０．５%と比較的高い結果となった。その他の事業についても計画どおり進めることが出来た。
課題	一部の事業で関係権利者や関係機関との調整に時間を要し未達の事業が出た。事業計画の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることが必要である。
取組方針	事業の必要性について関係権利者に十分な事前説明を行なうとともに、関係機関との綿密な打ち合わせを行い計画的な事業推進を図る。

外部評価

藤岡駅前広場や岩舟駅南口の整備等、市内各駅周辺の整備が進められている。地域の玄関口となる駅周辺が整備されること自体は地域にとってプラスにはなるが、何のために整備するのか、整備後どの様にまちづくりに繋がるのか、目的が不明瞭である。場合によっては、中途半端な整備に終わることも危惧される。ついては、地域住民の方々と協議し、各地域のまちづくりの方向性との整合性を図った上で、地域の実情に即した整備を図られたい。

また、幹線市道の改良率が目標を下回っているが、都市基盤の充実を図る上で道路網の整備は必要不可欠であることから、計画的に幹線市道の整備を進められたい。

単位施策達成のための事務事業

事業ｺｰﾄﾞ	名　　称	ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ(千円)	達成度
404001	市道２０６５（２０９）号線道路改良事業費（栃木平井町）	35,263	100
404601	市道１０２４（１１４）号線道路改良事業費（栃木吹上町・宮町・	20,264	100
434301	シビックコア推進事業費	7,649	100
492101	市道２０４２（２３３）号線（永宮橋）橋りょう整備事業費（栃木	64,135	100
492201	スマートＩＣ整備事業費	63,501	100
493202	市道２３０５１・１０３７（Ｏ３０・１）号線道路改良事業費（大	28,665	100
493305	市道１００６（Ｎ１００３）号線道路改良事業費（西方金崎）	5,897	100
493901	今泉泉川線道路整備事業費(栃木今泉町1・2丁目・日ノ出町）	27,611	100
701501	バリアフリー推進事業費	802	100
705201	まちなか土地利用計画推進事業費	11,336	100

平成29年度　単位施策評価表

所属 28100000
建設部　道路河川整

施策	2101　都市基盤の充実			
単位施策達成のための事務事業	事業ｺｰﾄﾞ	名　称	ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ(千円)	達成度
	706102	市道２０８３（Ｏ１５９）号線道路改良事業費（大平蔵井）	12,319	100
	712506	岩舟駅南口整備事業費	8,422	100
	733603	流末排水路整備事業費（藤岡地域都賀）	3,612	100
	736701	(仮称)地域交流センター等整備事業費	52,423	100
	736801	市道１１１７８号線道路改良事業費（栃木入舟町・祝町）	56,989	100
	738201	市道１００５（Ｎ３１６０）号線道路改良事業費（西方本城・金崎	14,132	100
	409702	市道１０６１（Ｏ５２７）号線歩道整備事業費（大平新）	11,130	60
	407403	市道１０６６（Ｆ６）号線道路改良事業費（藤岡富吉１区）	93,738	50
	493803	藤岡駅前広場整備事業費	3,750	50
	721206	市道１０５５（Ｉ１３９）号線道路改良事業費（岩舟静）	23,917	50
	400201	道路台帳整備委託費	35,498	1
	400301	道路河川整備課一般経常事務費	9,279	1
	430101	都市計画課一般経常事務費	25,170	1
	641301	市街地整備課一般経常事務費	3,800	1
	405101	沼和田川原田線道路整備事業費（栃木柳橋町・箱森町）		0
	409502	市道Ｏ－２０４号線道路改良事業費（大平蔵井）		0
	434501	シビックコア地区歩道・広場整備事業費		0
	709606	市道２０９１（Ｉ２２０）号線道路改良事業費（岩舟五十畑）	0	0
	709906	市道I-292号線道路改良事業費（岩舟曲ケ島）		0
	710006	市道１０５１（Ｉ２２３）号線道路改良事業費（岩舟鷲巣）		0
	710606	市道１０６８（Ｉ２７０）号線道路改良事業費（岩舟静戸）		0
	721606	静和駅周辺整備事業費		0
	721903	市道１０７３（Ｆ４）号線道路改良事業費（藤岡学校通）		0
	753701	立地適正化計画策定委託費		0
	771102	市道２０８９（Ｏ２６）号線道路改良事業費（大平富田）		0
	772001	シビックコア地区歩道・広場整備事業費		0

平成29年度　単位　施策評価表　補表

施策	2101　都市基盤の充実		
区分	妥当性	妥当	都市基盤の整備はまちづくりの根幹となる事業であるため、本単位施策下の各事務事業の推進は不可欠である。
	コスト削減の余地	有	各事業の整備手法を見直すことにより、若干の余地があるものと思われる。
	受益者負担	適正	各事業の性質上、特定の者に対する受益はないため、市の負担は適正である。
	上位貢献度	有効	「暮らしやすい都市の創出」のためには、都市基盤を充実させることが最も貢献度が高いものと思われる。
	類似事業の有無	無	本施策の成果を達成するには、他の事務事業では代替できないものと思われる。
	成果向上の余地	有	進捗管理及び整備手法を見直すことにより、成果向上に繋がる事業もある。
内部評価 **【H29年度分】**	貢献度	上位施策の目標指数「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには、都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり、本施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	実施計画に基づいた計画的な進捗管理により、達成率の平均は90.5%と高い結果になった。 ①主要事業4事業のうち2事業は100%、②その他投資的事業等16事業のうち14事業は100%	
	課題	一部の事業においては、用地取得に時間を要しているもの、また、鉄道事業者との協議・調整に時間を要したものなど、目標に達しない事業は、関係機関や権利者等の理解と協力を得るための努力が必要である。	
	取組方針	事業の必要性について関係権利者に十分な事前説明を行うとともに、関係機関との綿密な打ち合わせを行い計画的な事業推進を図る。	
内部評価 **【前期5年分】**	貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには、都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	・幹線市道の改良率は概ね達成。(目標値85.80%に対し85.0%) ・「道路の整備・保全に対する市民満足度」では、平成28年12月実施のアンケートにおいて、「満足」「やや満足」の割合が半数を下回る結果となった。(45.8%)	
	課題	・道路事業は用地取得業務がウェイトを占める中、近年では未相続地など所有者不明の土地等が増加しており、権利関係者との協議や調整に時間を要し、事業進捗に影響を及ぼす事案もある。 ・幹線道路の整備に要する財源確保も厳しい状況にある。	
	取組方針	・用地取得業務に際しては、計画段階からの権利関係者との調整を図るとともに、円滑な事業が推進できる協力体制づくりに取り組む。 ・国の交付金を充てている事業等においては、重点的に整備を図るべく施策を活用し少しでも多くの財源確保に努める。	